



ロジラテジー
代表取締役

延 嘉隆氏

かつては政界に身を置き、国政選挙に出馬した。現在は物流業に特化したコンサルティング会社、ロジラテジーの代表を務め、「物流人材コンサルティング」という新ジャンルの開拓に邁進する。他方、港をこよなく愛し、週末には横浜・本牧埠頭で「コンテナの表情」を撮影。「日本唯一のコン

切しなかったが、ニュースは入念に見た。情報を仕入れていく中で、「世の中が間違っている」との思いを募らせる。

「偏差値を上げることしか関心がない教師がこの国を面白くする人材を育てられるのか。人を育てる世の中に変えなければ、この国はダメになる」。当時、精

運輸政策で一番に

「映画のトップガンを見て、直ちにパイロットになりたくなるクチですから（笑）」。「この言葉どおり、「世の中を変える」と決めたら行動は早かった。偏差値をV字回復させ大学に入

し、誰かが戦略を描かなければと思った。また、この分野なら一番になれると考えた」。2002年10月、衆議院福岡8区補欠選挙に出馬。落選したが、さまざま経験を蓄積した。その後、数社のコンサルティング会社などを経て、08年12月にロジラテジーを設立す

格好良い業界に

現場の意識変え「カイゼン」

を出したのは日雇いのアルバイト。地下タンクの解体現場で一緒になった労働者の言葉が今も胸にある。「これで娘に学校の上履きを買ってあげられる」。日雇い労働の現場を体感した氏は、「政治はこの人たちを見てのらうか」との疑念を抱く。

む。卒業後、同氏と山崎拓氏、自民党幹事長2人の秘書を歴任した。大学で「物流二法」を研究した延氏は、「当時の自民党には運輸族はいいても、運輸政策に本當に詳しい物流の専門家がなかった。交通部会の議論を聞いても、この国は物流を軽視していると感じた

物流マンで勝負
「選挙は政策を競う以前に、現場の支援者の協力がないと成り立たない」。氏が「人ありて物流」と主張し、現場を重視する背景には、経験に基づく独自の感覚がある。「国内の3PL企業は現場の運用を人材派遣会

◇略歴(のぶよしたか)
1997年青山学院大学経営学部卒業。自由民主党の加藤紘一氏、山崎拓氏の秘書を歴任。2004年9月、船井財産コンサルタンツ、05年10月日本ビジネススクリエイトなどを経て、08年12月から現職。

る氏の当面の野望は、物流業界を「子どもたちが胸を張って「ウチの父ちゃん、物流やってるんだ」と誇れるような」日本一「格好良い業界に変えること。再び国政に打って出るのはその後になりそうだ。